

38 「攻めの農林水産業」の展開に資する研究開発

【4, 621(5, 494)百万円】
(平成26年度補正予算 1, 400百万円)

対策のポイント

生産現場等のニーズに直結した革新的な新技術や新品種の開発、農林水産物の需要拡大のための技術開発等を強化するとともに、収益力向上につながる農林水産物の生産拡大等に向けた革新的な技術体系導入実証研究を推進します。

<背景/課題>

- ・「農林水産業・地域の活力創造プラン」に基づき、農林水産業の成長産業化による農業・農村における所得増大を目指すとともに、食料自給率・自給力の維持向上を図ることが最重要課題となっています。
- ・このため、農林水産業・農山漁村が持つ機能を最大限活用し、日本の食を支える強い農林水産業を創るため、研究開発によるイノベーションが求められています。

政策目標

イノベーションが主導する農林水産業の成長産業化

<主な内容>

1. 生産現場強化のための研究開発（委託プロジェクト研究）

2, 486(1, 877)百万円

現場のニーズを吸い上げつつ策定した研究戦略に基づき、収益力を向上させる技術、生産・流通システムを革新する技術、地球規模の温暖化への適応技術、森林資源の新たな需要創出技術等、農林水産業の生産現場を強化する研究開発を推進します。

2. 需要フロンティア拡大のための研究開発（委託プロジェクト研究）

220(626)百万円

国産農林水産物の需要拡大を図るため、国産農産物の多様な品質（食味、食感等）を非破壊で評価する技術、養殖ブリ類の低コスト安定生産技術の開発を推進します。

3. 技術でつなぐバリューチェーン構築のための研究開発（委託プロジェクト研究）

1, 915(2, 991)百万円

実需者等のニーズに応じた業務・加工用作物品種の開発や、これを支えるゲノム育種を推進するとともに、海外植物遺伝資源の収集・提供を強化します。また、地域資源を活用した再生可能エネルギー等の利活用技術の開発を推進します。

（委託費）
（委託先：民間団体等）

4. 農林水産業の革新的技術緊急展開事業

（平成26年度補正予算 1, 400百万円）

農林水産業の活力創造を図るため、民間企業、大学、独立行政法人などの英知を結集して、革新的な技術体系を導入した実証研究等を推進します。

（補助率：定額）
（事業実施主体：民間団体等）

お問い合わせ先：技術会議事務局

1 及び 4 の事業	研究推進課	(03-3502-7437)
2 の事業	研究開発官 (食の安全、基礎・基盤)	(03-3502-7435)
3 の事業	研究統括官	(03-3502-2549)

「攻めの農林水産業」の展開に資する研究開発

背景

「農林水産業・地域の活力創造プラン」に基づき、農林水産業の成長産業化により、農業・農村の所得倍増、食料自給率・自給力の維持向上を図ることが最重要課題。

生産現場や実需者のニーズに直結した
新技術・新品種を開発

イノベーションが
主導する
農林水産業の
成長産業化

革新的な技術体系を導入する**実証研究を展開**

生産現場や実需者等のニーズに直結した新技術・新品種を開発 (委託プロジェクト研究)

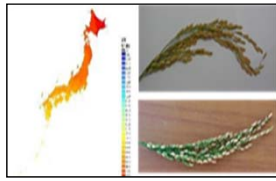
生産現場の強化

収益力の向上や省力・大規模化のための技術開発、
気候変動の影響を回避・軽減するための技術開発 等

栄養収量の高い国産飼料の
低コスト生産技術 等



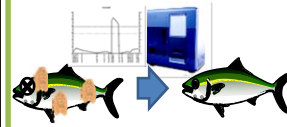
地球規模の温暖化による水
稲の高温不稔に対応する技
術 等



需要フロンティア の拡大

国産農林水産物の需要
拡大を図る技術開発

ブリ類の病害虫耐性品種
を短期間で育成する技術、
人工種苗の低コスト・安定
生産技術の開発 等



バリューチェーン の構築

実需者等のニーズに応じた
新品種、再生可能エネル
ギー利活用技術等の開発

実需者等のニーズに応じた
加工適性、広域適応性を有
する業務・加工用新品種 等



革新的な技術体系を導入する実証研究を展開(平成26年度補正予算) (農林水産業の革新的技術緊急展開事業)

畜産物の高
付加価値化、
生産性の向
上技術体系



クロマグロの
安定供給に
対応した養殖
技術体系



機能性表示制度に
対応した機能性関
与成分のバラつき
を抑える技術体系



最先端の分析
技術の農林水産
・食品分野への
応用研究

新技術・新品種の生産現場への普及による農林水産業の成長産業化